

都市農村共生・対流総合対策交付金(山村活性化支援対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	柳田地区山村活性化協議会	事業開始年度	目標年度	事業実施期間
2. 取組振興山村名	能登町柳田地区	平成27年度	平成29年度	平成29年4月17日～平成30年 3月26日
3. 事業費(うち国費)	3,862,742円(3,842,322円)			
4. 第三者氏名	井下 勉			
5. 事業評価				
総合評価				
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)		(評価理由及び助言等のコメント) 各事業の取り組みに対し目的がしっかりしていたと判断し A とした。		
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)重点指導対象	
① 取組状況				
○ 目標の達成に資するための取組が行われたか。		(評価理由及び助言等のコメント) 苗木育成地の確保、販路開拓の展示会に際し、開催地の「東山植物園」の協力により名古屋市各区、近隣の駅等で開催チラシが配置されるなど事前の連携が取られていたと判断し、併せてマスコミへのアプローチなどもしっかりなされていたと受け止め A の評価とした。		
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)重点指導対象	
② 事業実績				
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。		(評価理由及び助言等のコメント) 苗木の販売は、3年以上でない商品化は不可能なので、数値的には評価できないが、3年以上の苗木の売り上げは確実に高まっていることから A と評価をした。(今後への期待も込めた)		
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)重点指導対象	
③ 実施体制				
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。		(評価理由及び助言等のコメント) ・事業実施体制が概ね整備され、事業が進められていた。		
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)	
④ その他				
<ul style="list-style-type: none"> ・外国語版DVD制作について、マスコミに取り上げていただいた。 ・東山植物園での展示会・講演会についてもカラー写真で取り扱っていただいた。 				

※複数名の学識経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。